

時事問題を考える

目的とねらい

複雑に動き、次々と新しい問題が起こる現代社会、高齢者もしっかりと学ばないと時代・社会に翻弄されます。

政治・経済などの時事問題に限らず、介護など誰もが日常生活で直面する問題を取り入れています。よりよい生活の備えにしてもらえれば幸いです。

会場

河原町学舎

定員

50名

受講料

10,000円

責任講師

鈴木 元（国際ジャーナリスト）

日程

全8回 第3水曜日

13:30～15:30（4月は午前10:00～12:00）



（日程等是一部変更になる場合があります）

①	ウクライナから見たロシアによる侵略について—生活者の視点も入れて 千田 悦子（元・国連高等難民弁務官職員 ウクライナ在住2年）	4/17（水）
②	26年間、妻の介護と仕事の両立を迫りてきて見えてきたこと （介護体験本6冊、NHK「きらっと光る」にも出演） 鈴木 元（国際ジャーナリスト）	5/15（水）
③	米軍基地と日米安保条約 石川 康弘（神戸女学院大学名誉教授）	6/19（水）
④	闇バイト、被害と加害の両面から 細田 梨恵（京都第一法律事務所弁護士）	7/17（水）
⑤	気候危機と再生エネルギー 木原 浩貴（京都府地球温暖化防止活動推進センター副センター長）	9/18（水）
⑥	男女を問わず性被害問題 高木 野衣（京都第一法律事務所弁護士）	10/16（水）
⑦	最新情勢に基づく受講生の要望に応えたテーマを設定 あらかじめテーマを決めず、その時点で焦点となっている問題について7月の講義の時に受講者からのアンケートに基づき、可能な講義を行う。	11/20（水）
⑧	過労死問題、何時でも、何処でも、誰にでも起こりうる問題 寺西 笑子（夫を突然、過労死で失った妻が足掛け10年、 労災認定・賠償金を勝ち取る）	12/18（水）